

玉造厚生年金病院広報誌

夕映え

2007 春号 vol.11

— 理念 —

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



玉造厚生年金病院に赴任して

事務局長 久保 博明



ご縁があって昨年10月から玉造の住人にさせていただいております。

ドライブをすることが大好きな私は、休みの日もなると温泉や美術館巡りにあけて、早くも玉造の地を楽しんでおります。しかし同時にあきれて笑ってしまうくらいひどい方向音痴なので、出雲空港、玉造温泉、病院のどれかを目印にしながら出ないとすぐ迷ってしまいます。

ある方の講演に出かけた折のこと、今でも大変印象に残っている話があります。

「蛙」は、自分で体温調節ができないため、気温が高くなれば活動し、低くなれば冬眠する生き物とのこと。そんな「蛙」を熱いお湯にいきなり入れれば驚いて飛び出してしまうが、最初に水に入れてから徐々に沸かしていくと、自らの体温が上がっていくのに気づかず、熱湯になって死んでしまうという話でした。今の自分に置き換えてみたとき、果たして自分は日常の環境の変化に気づかず、大事なことを忘れてはいないだろうか、ぬるま湯に浸かってはいないだろうか、ここ松江玉造の地で自分の言動を省みる今日この頃です。

昨日、混雑緩和を目的とした玉造交差点周辺のバイパス工事も完成して、松江につながる便利な道路も出来ました。しかし、出雲方面からの帰りに『玉造温泉は右折』の看板を見ながらも、つつい二車線の大きな流れに乗って行き過ぎてしまうことなど度々で、方向に関してはなかなか変化に追いついていけない私です。そんな私ですが、「茹で蛙」にならないよう自分の“方向性”だけは見失わないよう精進してまいる所存です。呆れず、懲りずに、今後ともどうかご指導、ご好誼いただきますようお願い申し上げます。

医療の現場から ～治療トピックス～

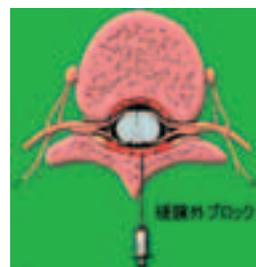
手術後の除痛 ～特に硬膜外鎮痛について～

麻酔科部長 増谷 正人



手術を受けるにあたって、術後の痛みは心配なものの一つだと思います。昔は手術後には痛いものだとして軽視されがちでしたが、最近では手術後の痛みが体に及ぼす影響も調べられ、術後痛を取り除くことの重要性も徐々に認識されるようになってきました。それに伴い術後鎮痛法についても研究が盛んに行われるようになり、いろいろな鎮痛方法が開発されてきています。

そのなかでも腹部手術や下肢手術の鎮痛手段としては、硬膜外ブロックという有用な鎮痛方法があります。これは昭和天皇の手術の際にも行われた鎮痛法で、硬膜外麻酔を行った後、細いチューブを残しておき、このチューブを通して痛み止めを持続的に投与するという方法です。投与される痛み止めは局所麻酔薬と麻薬系鎮痛薬が一般的です。当院でもこれに準じて特に下肢の人工関節手術などに対しては、低濃度の局所麻酔薬を主体とした持続硬膜外ブロックによる術後鎮痛を行っています。



しかし、薬というのは全てそうなのですが、投与に伴って副作用的な効果が出現してくることがあります。硬膜外鎮痛においても同様で、局所麻酔薬については高濃度のものを使えば鎮痛効果は十分となるわけですが、痛覚神経と同時に知覚神経や運動神経もブロックされてシビレ感が強くでたり、足が動かさないなどの訴えが多くなります。実際には手術時の使用濃度の1/3～1/4程度の低濃度を手術後には使用していますが、それでも足指の運動不全が出現したりして中止を余儀なくされることもあります。いずれにしても局所麻酔薬によるシビレ感や運動不全症状は薬の注入を中止することで改善しますので心配は要りません。



バルーン式鎮痛薬注入ポンプ

麻薬系鎮痛薬は、硬膜外投与だけでなく、一般的に筋肉注射や静脈注射としても使用されています。この薬は強い鎮痛作用を持っていますので、単独の使用でも術後の痛みをとることが可能ですが、その副作用として吐き気や嘔吐、大量に使うと鎮静作用（呼吸抑制）などが出現することがあります。特に早くから食事などを摂ることができない整形外科の手術後には、吐き気は術後鎮痛の上で問題となる症状です。手術後には腸管の運動が弱くなるなどのいろいろな要因が絡んで吐き気が出現しますので、一概に術後の吐き気は麻薬系鎮痛薬のせいだけで起こっているわけではありませんが、麻薬系鎮痛薬がその一因であることは間違いありません。この薬による吐き気は、個人個人の感受性の差があるといわれています。たくさん使っても全然吐き気を起こさない人もいれば、ほんの少量使っただけでも長時間ひどい吐き気が続く人もいます。そしてこの感受性の差については投与前に調べることができず、使用して初めてわかることが多いのです。吐き気が出た場合には、単純には吐き気止めを使用すればいいわけですが、なかなか有効でない場合も多く頭を痛めているところでは、

その他に術後使用できる鎮痛薬として、坐薬や飲み薬の痛み止め（消炎鎮痛薬）があります。この薬は鎮痛作用としてはちょっと弱いのですが、直接的な吐き気という副作用などが少ないという利点があります。

当院でも術後鎮痛については力を入れて行っていますが、残念ながら現在のところ全ての人に適用できる完璧な鎮痛法というのは存在しません。そのため実際的な術後鎮痛の仕方としては硬膜外ブロックや麻薬系鎮痛薬、消炎鎮痛薬などの鎮痛手段の良いところ悪いところを考慮した上で、個々の患者さんの状態に応じて調整して対応させていただきます。

術後に吐き気や嘔吐のおこりやすい人
女性 乗り物酔い 非喫煙者
術後吐き気・嘔吐の既往
＜麻薬系鎮痛薬への感受性の差＞

新型CT装置 導入のおしらせ

検査制度向上のため新型CT装置（東芝社製Asteion Super4）を導入し、
2006年11月7日より稼働開始いたしました



今回導入しましたCT装置の特徴として、

- ① **検査時間の大幅な短縮**
息を止めていただく時間も短くなり、
患者さまの検査時のご負担も大幅に緩和されました
- ② **患者さまの被ばく線量を大幅に低減**
一人ひとりの体格にあわせて
無駄なX線を照射しない機能を搭載
- ③ **高精細な画像による検査精度の向上**
高精細な三次元画像（3D）を作成することで
微細な病変構造の観察が可能となりました



腰椎固定術OP後



右手造影3DCT



骨盤骨折



第2腰椎圧迫骨折



通所リハビリテーション開始します

通所リハビリテーションとは、介護保険サービスの一つであり、病院・診療所・介護老人保健施設などで日帰りのリハビリテーションが受けられるサービスで、一般的にはデイケアとも言われています。

この通所リハビリテーション事業の基本方針は、皆様方が要介護または要支援状態となった場合においても、可能な限り居宅等において自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うことにより、心身機能・生活機能の維持回復を図ることとされています。

利用可能な対象者は、介護保険制度に基づく「要介護認定」によって、「要支援」または「要介護」と認定を受けた方で、身体運動器に疾患を有する方となります。利用に当たっては、まず利用者様の介護支援専門員（ケアマネージャー）とご相談の上、ケアプラン（その月々にリハビリテーションやその他のサービスをどの程度受けるかという内容の指示書）を作成していただく必要があります。利用開始に当たっては、このケアプランの確定後となりますのでご了承ください。

当院で実施する通所リハビリテーションは、今のところ日々の健康チェックと個別リハビリテーション（物理療法等を含む）を中心に、午前中の半日を過ごしていただく予定としています。そのために、医師、理学療法士、作業療法士、看護師、医療ソーシャルワーカーなど関係各署が協力して、利用者個別のリハビリ実施計画を作成し、それに基づいて実施していきます。休憩スペースも設けて、適宜休憩をとりながら個別にマイペースで利用していただく予定です。サービス提供場所は、1階内科外来向かい側の「通所リハビリテーション室」にて5月初旬からのサービス提供を予定としています。ご利用希望の方、詳しく知りたい方は、お気軽に下記宛お問い合わせください。



通所リハビリテーション室

【通所リハビリテーションに関するお問い合わせ先】

玉造厚生年金病院 医療福祉相談室
医療ソーシャルワーカー 竹下
TEL 0852-62-1591（地域連携室）

1日のスケジュール（一例）

8:30	受付開始 健康状態確認
9:00	個別リハビリテーション 理学療法 物理療法 自由時間
11:00	作業療法
12:00	健康状態確認 終了

送迎がありませんので、各自で通院していただく必要があります。

お食事・入浴に関しても当面はサービスを行いませんので予めご了承ください。

自由時間を利用して、自主リハビリやゲーム、手芸、茶話会など様々な活動をしていただくことができます。



薬剤部スタッフ

1. 薬剤部って、どんなところ？

一般的に薬剤部は、入院・外来患者さまのお薬や注射薬を医師の指示により出すところです。

薬を出す際には、処方された内容に不備な点はないか、適量を超えたものや症状に則さないものがないか、等を総合的に判断し、問題がある場合には医師・看護師等への問い合わせを随時行いながらお薬の提供をしています。

2. 業務内容について

入院患者さまへお薬を出すためには、まず医師に処方をしていただく必要があります。当院ではオーダーリングシステム（院内部署連携回線）により受けた情報内容を処方箋化し、内容に応じて各種薬品を整理し、薬袋（錠剤・粉末の種類ごとや1回分まとめた包装）などに入れるなどの作業を行った後、各病棟へと送りだします。

一方、外来患者さまへのお薬の提供は、初めて受診の方の場合は処方箋を白紙の状態でご診察科へ添付し、医師が処方を記載したものが患者さまの手により薬剤部の窓口へと運ばれてきます。また、再診の場合には前回の処方内容が記されたものが同様に各診察科へと添付され、医師が処方内容を確認し、変更等（薬の追加、飲み方の変更）がなければそのまま薬剤部の窓口へ運ばれてくる仕組みとなっています。

その後、私たち薬剤師が内容を確認し、各種薬品を取り揃え、入院患者さまと同様に薬袋などに入れた後患者さまへお渡ししています。お渡しする際には、薬剤部の窓口において、一人一人の患者さまごとに飲み方やお薬の説明を行っています。

3. 最後に

私たち薬剤師は、“薬”という日進月歩変化している物を取り扱う部門において、正確な情報を取り込み、またどのような事柄に対しても迅速な対応が出来るよう日々研鑽し学習しています。今後も変わらず努力を続け、己を磨いていきたいと考えています。

皆様もお薬を受け取りになられるとき、ご不明な点などございましたら遠慮なく何なりと薬剤師にお尋ね下さい。

（文責 薬剤師 勝部 雅章）



処方箋をチェックする薬剤師

人工関節手術を受けられた患者さまへのお知らせ



- 当院では、平成19年1月より人工関節術後のX線写真を、パスポートサイズに縮小しラミネートしたものを、希望される患者さまに提供しております。
- 手術の記念や、飛行機の搭乗検査時の提示用にご利用いただけます。
- 購入代金は1枚 1,000円です。人工関節友の会会員の方は1割引です。
- ご希望の方は、看護師にお申し出ください。後日郵送いたします。
(支払は、外来診療費支払時に、購入代金と送料を支払窓口でご精算いただきます。)

表紙の写真

4月になると、病院の庭は、様々な花がいつせいに咲き出し、ととみにぎやかになります。なかでも、ほのかに甘い香りを放ち、少し緑色を帯びた白い花を咲かせるのが、梨の木の花です。もともと中国で作られていた梨。中国の故事では、その美しさが 梨の花 にたとえられた楊貴妃。彼女を愛した玄宗皇帝はよほど梨の花が好きだったらしく、梨を植えた庭園で楽土を入れていつも演奏させていたそうです。花言葉は「和やかな愛情」。秋には、小さな梨の実をつけます。(F.S)

編集後記

4月の声を聞き、行く人来る人と世間が慌しく動き始め、季節のページがまたひとつめくられました。私事、うちの次男が先日小学校の入学式を終えた帰り道、お兄ちゃんと一緒に誇らしげにスキップを踏んでる姿を見て、知らぬ間にたくましくなっていく我が子に少しの嫉妬を覚えました。いつまで一緒にお風呂に入ってくれるのかな？

さて、当院内でも、何名かの新人が新しい“顔”として、期待に胸膨らませ勤務を開始しています。まだまだ皆様のご指導、ご鞭撻が必要です。至らぬ点もあるかと思いますが、どうか末長く温かく見守って下さいね。(K.H)

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560
<http://tamahosp.jp>

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。